

～飲食店に三陸牡蠣を取り扱う印「ノボリ1000本」を立てて三陸牡蠣の需要を喚起～



# 地元と一緒に盛り上げたい! 三陸牡蠣ノボリ 1000本プロジェクト

## <三陸牡蠣を取り巻く問題>弱いアピール力と販売量の鈍化

宮城県は広島に次いで国内最大級の牡蠣生産地を有します。しかしながら地元で地域を代表する食材にもかかわらずシーズンに入っても地元をあげたPRや「ここで美味しい三陸牡蠣が食べられますよ」と言った観光客へのアピールが非常に弱いと感じられています。

牡蠣生産地では震災から2年半が過ぎ養殖の再開や浜の再建も進んでいるなか、出荷再開までの間に他産地に奪われた販路を回復できずにより生産量回復に販売量の回復が追い付かず牡蠣産業の復興に水を差す形となっています。

## <解決策>地元をあげたPR活動

### 「三陸牡蠣ノボリ 1000本プロジェクト」の実施

本プロジェクトは、三陸牡蠣、特に宮城県産牡蠣の販売量回復によって地元の基幹産業である牡蠣産業の復興促進と新たな観光の目玉として牡蠣を通じ地域全体を盛り上げることを目的としています。

当実行委員会では、三陸牡蠣を取り扱っているご飲食店様に無償でプロジェクト共通のノボリを提供し、街の至る所にそのノボリを掲げることで三陸牡蠣の存在感を高め、観光客だけでなく地元住民へもアピールすることによって需要増加を図ります。

また、本プロジェクトの効果を多くの販売者にも享受してもらうために、牡蠣を供給する販売者リストを作成し、ご飲食店様にご案内する計画です。

## <プロジェクト概要>

【目的】	地域が一体となって三陸牡蠣をPRし、需要拡大を図るため。
【実施】	平成25年12月より希望するご飲食店様へ共通ノボリを配布します。
【ノボリ配布対象】	三陸牡蠣を取り扱う飲食店・小売店等
【目標】	三陸牡蠣を取り扱う店舗1000軒に共通ノボリを立てる。
【ノボリ配布協力者】	牡蠣の販売・卸業者、食料品卸業者
【協賛】	キリンビールマーケティング株式会社宮城支社、株式会社アイリンク
【協力】	株式会社カネサ藤原屋、株式会社吉岡屋
【後援】	宮城県、河北新報社

ノボリを立てて頂けるご飲食店様は裏面上部に、またノボリの配布協力や牡蠣販売者リストに名を連ねたい牡蠣販売卸業者・食料品卸業者様は裏面下部に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。